

令和3年9月定例会 一般質問（概要）

令和3年12月7日（火）

質問者：横倉 廉幸 議員



（横倉廉幸議員）

【はじめに】

大阪維新の会大阪府議会議員団の 横倉廉幸 です。
通告に従い順次、質問をさせていただきます。

1 水都大阪の歴史的価値とシビックプライド

昨年の一般質問に引き続き、今回も「中の島ゲートの整備」についてお聞きいたします。

この件に関しましては、先日の府民文化常任委員会においても質疑を行い、特に本エリアのサウスピーアがある西区川口地区の歴史への理解と施設の整備に関して要望を申し上げたところであります。

改めて、ここで簡単にこの地区のご紹介をさせていただきます。

今から150年以上前、輸送手段のほとんどが船舶によるものだった当時、幕府から政権が移った明治政府によって、ここ川口に外国との貿易の窓口となる大阪港が開港されました、その明治元年の開港を控え、現在で言う税関事務や外交事務を担当した、大阪税関の前身である「川口運上所（かわぐちうんじょうしょ）」が設置された場所であり、

この川口運上所の初代所長に任命されたのが、皆さんご存じの大阪の恩人と呼ばれる五代友厚さんであり、この場所は大阪税関の発祥の地であります。

また、明治3年には、川口運上所内に日本で初めての電信局が開設され、ここから神戸まで電信線が繋がり、大阪電信発祥の地ともなっています。



1

この写真は電信発祥の地の碑の写真です。

一方、この川口地区の東側には、外国人貿易商や宣教師たちを住ませるための外国人居留地が同時期に整備され、川口居留地の東側を流れる木津川の対岸、江之子島には、明治7年に大阪府庁舎が、明治32年には大阪市庁舎も建設されるなど、この地域から大阪の文明開化や行政の近代化が始まったと言える大阪の歴史にとって重要な役割を果たした地域です。



大阪港150周年記念誌より抜粋

2

地図をご覧ください、これは明治19年の川口地区の地図です。

ご覧のように安治川に面して大阪税関があり、その東を流れる古川の対岸には居留地がありま

した。そしてその東を流れる木津川の対岸には大阪府庁がありました。

現在このサウスピアには、「大阪開港の地」や「大阪電信発祥の地」といった石碑が、敷地の片隅に一か所に集められ設置、保管されていますが、管理のためにフェンスで囲われているだけで、残念ながらその歴史を感じられるものとはなっていません。



3

この写真は保税倉庫などを撤去する前に写したものです。



4

これらの碑が散逸、または破壊されないように治水事務所をお願いして保管して頂き、現在はこのような形で保管して頂いています。



5



6



7

また、外国人居留地の当時の様子を伝える精巧なジオラマが咲洲庁舎に保存されています。が、咲洲庁舎では、十分に活用出来ているとは思えません。

中之島ゲートエリアの整備にあたっては、今般、サウンディング型市場調査を実施し、今後事業者公募を行って、進められるとのことですが、事業者にも、この地が歴史的価値を十分に理解していただくとともに、地域の住民も含め、この地を訪れる人々に、川口の歴史を知っていただくための取組みが必要だと私は考えます。

そこで、中之島ゲートエリアに関する事業者公募の際には、これらの石碑やジオラマを活用するなどにより川口地区の歴史的価値が分かるような施設を整備していただきたいと考えますが、府民文化部長に所見を伺います。

(府民文化部長答弁)

- ベイエリアと大阪の都心部の中間に位置する中之島ゲートエリアは、海と川を結ぶ結節点となり得るだけでなく、議員お示しのとおり、明治元年には外国との貿易の窓口となる大阪港が開港されるなど、歴史的にも重要な地域であると認識。
- そのため、サウンディング型市場調査においては、本エリアの歴史的価値の保存・活用についても調査項目に加え、民間事業者に意見や提案を求めたところ。
- また、地元自治会との協議の場においても、歴史的価値の活用等について、ご要望をいただいたところ。今後、これらの意見や要望を参考に、公募条件の整理を進めてまいります。
- 2025年大阪・関西万博の際には、中之島ゲートエリアが、万博会場を訪れた人々を道頓堀や大阪城といった大阪の観光名所に運ぶことができる、水都大阪の新たなにぎわい拠点となるよう、しっかりと取り組んでまいります。

(横倉廉幸議員)

先ほども申し上げましたように、この地区が大阪の近代化に大きく貢献した歴史を知っていただくためにも是非とも整備して頂くようお願いいたします。



8



9

また、この地にはご覧のような国有地と建物もあります。

ぜひ国有地も含めた一体の整備をお願いいたします。

私はこの川口地域に隣接する九条という町で生まれ育ち今も住んでいます。

子どものころから歴史が好きでこの居留地があった川口地域や府庁があった江之子島地域など、こんな大阪の歴史的に大きな役割を果たしていた地域に生まれ住んでいることが誇りに思い、また愛着を持って住み続けることにつながっています。

またそのことを多くの人たちに知ってもらいたいと思っています。

同様に、水都大阪に対して誇りや愛着を持ち、住民自らが水都大阪の未来を作っているという当事者意識を伴った自負心を大阪に住む多くの人達に持っていただきたいと思っています。

そこで、平成 27 年 2 月の府民文化常任委員会、平成 31 年 2 月の都市住宅常任委員会でも申し上げましたが、いわゆるシビックプライドの醸成についてお伺いします。

海外をみると、例えばアメリカ合衆国のニューヨーク、オランダのアムステルダムでは、それぞれ、「アイラブニューヨーク」、「アイアムステルダム」といったキャッチコピーを広報や PR 活動において継続的に使用し、効果的な都市のブランディングを実現して、シビックプライドの醸成にも寄与していると聞いております。

大阪府、大阪市、経済団体等で構成する水都大阪コンソーシアムでは、昨年度策定された「水都大阪ビジョン」に基づき、ブランディングの強化の一環として、シビックプライドの醸成に取り組むとされています。

このシビックプライドの醸成に向けて、大阪においても、「水都大阪」の知名度を上げるために何かよい方法がないか、私なりに考えてみました。おやじギャグではありませんが水都を英語のスイーツに読み替え、「スイーツおおさか」などといった言葉はどうでしょうか。

Sweet Osaka

10

そして、愛着あるキャッチコピーやロゴマークを使用し、積極的かつ継続的に発信することで、水都大阪のブランディング強化はもとより、府民にもシビックプライドを持って、水都大阪の活動にも積極的に参加いただけるものと考えますが、府民文化部長に所見を伺います。

(府民文化部長答弁)

- 水都大阪のブランド力をさらに高めていくためには、行政や経済界による取組みだけでなく、府民の皆様にも、水都大阪に誇りや愛着を持って、積極的に関わっていただく、いわゆるシビックプライドの醸成が大変重要と認識。
- 水の回廊周辺においても、これまで、北浜テラスやタグボート大正をはじめ、多くの民間事業者や地域住民が主体となって、水辺のにぎわいを創出する取り組みが進められてきたところ。
- 今後、議員お示しの海外での事例やアイデアも参考に、水都大阪のさらなるブランド力の向上やシビックプライドの醸成に繋がる方策について、関係者と連携しながら、しっかりと検討してまいります。

【要望】

水都大阪の歴史文化を広める、また、府民に愛着を持ってもらえる取組みをこれからもぜひとも続けていただくことをお願いいたしておきます。

私からの提案した、「スイート大阪」の Sweet には「優しい、歓迎する」などの意味があり、日本人だけでなく、外国の方にも非常に覚えてもらいやすくアピールになるのではないかと。「スイートな大阪です」といったキャンペーンも可能であると思うので、前向きに検討していただきたい。

今後、万博開催や、IR開業も見込まれており、国内外から訪れる観光客の増加が見込まれています。中之島ゲートが整備されると、船で中之島ゲートを訪れていただき、そこで大阪の歴史を学び、さらにそこから道頓堀や大阪城といった大阪の観光地へ船で訪れていただける、まさに結節点となりえます。

また、ここの歴史に触れることは訪れる人だけでなくこの地域に住む人々にとってもこの地域が大阪の近代化に大きく貢献した場所ということを知ることにより、誇りと愛着をもつ、このことが地域の活性派や住民のコミュニティの醸成にもつながるこれもまたシビックプライドと考えます。

中之島ゲートエリアの整備を確実に進めていただき、舟運の更なる活性化、水都大阪の更なる成長にしっかりと取り組んでいただくとともに、キャッチコピーを活用しながら、府民にも水都大阪に愛着を持ってもらうことで、シビックプライドの醸成につなげていただくことをお願いいたしておきます。

2 水道老朽施設の更新・耐震化

次に、最近住民の方から様々な不安の声をお聞きします。

もちろん一番多くは、コロナ関連のことですが、ここではそれ以外に不安に思っておられることとお訪ねいたします。

まず、日常生活において欠かせないライフラインの一つである水道について伺います。

和歌山市では10月3日に水管橋崩落による断水が発生し、さらに、10月7日には関東地方で発生した地震により東京都においても漏水や濁水が生じるなど住民生活に大きな影響を与える事態となりました。

大阪府域の水道は、高度経済成長期の水需要急増に対応するために、急速に整備・拡張された水道施設が老朽化し、法定耐用年数40年を超えた水道管の老朽管率は令和元年度時点で32.8%と全国ワースト1位となっています。

一方で、老朽化施設の更新や耐震化は多額の費用を要すること、また水道事業の技術職員が減少傾向であること等から対策が進みにくい状況となっています。

長期的な課題であると認識はしていますが、今後、いつ起こるか分からない災害対策の一つとして、老朽化した水道施設を計画的に更新や耐震化を進めていくことは重要です。

そこで、大阪府としての取組みについて健康医療部長にお伺いいたします。

(健康医療部長答弁)

- 水道施設の計画的な更新・耐震化は、災害対策や水の安定供給の観点から極めて重要ですが、府内管路更新率は令和元年度で全国平均より高いものの、法定耐用年数を迎える水道管が多いことから、老朽管率の改善には至っていません。
- そのため、府としては、水道事業体に対し、将来の更新需要を踏まえた適切な資産管理や耐震化計画等に基づく施設整備について技術的な助言・指導を行うとともに、国の生活基盤施設耐震化等交付金を活用した支援を行ってきました。
- 併せて、大阪広域水道企業団への統合や事業体間における技術連携等、広域化の推進など、水道事業体の財政基盤や技術職員等の組織運営体制の強化を進めています。
- 引き続き、これらの取組みを通じ、水道事業体と連携し、水道施設の計画的な更新・耐震化に取り組んでいきます。

(横倉廉幸議員)

【要望】

府では水道事業を有しておらず、直接的に施設を更新する立場ではないものの、今お聞き致しましたように事業体への技術的支援や国交付金を活用した支援、さらには広域化の推進等、様々な取組みをしていることが分かりました。

引き続き、水道事業体と連携を図りながら、水道施設の計画的な更新・耐震化に向け取り組んでいただきますよう、お願い申し上げます。



3 ギャンブル等依存症対策

次に、ギャンブル等依存症対策についてお伺いいたします。

大阪府において IR 誘致に向けた取組みを進めている中、ギャンブル等依存症に関する世間の懸念は依然として根強いものがあります。これは、ギャンブル等依存症というものが正確に理解

されていないことも一面にあるのではないかと考えています。

この間、国においては、平成 30 年にギャンブル等依存症対策基本法を制定し、同法に基づく基本計画を踏まえ、国民全体がギャンブル等依存症に関する関心と理解を深め、その予防を図るとともに、ギャンブル等依存症に悩む方が必要な治療や支援を受けられるよう、地方公共団体や関係機関、事業者等と連携しながら対策に取り組んできました。

府においても、令和 2 年 3 月に作成した大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画に基づき取り組みを行っていますが、IR 誘致を進めていくには、ギャンブルに興味を持ち始める若年層への予防教育をはじめ、広く府民がギャンブル等依存症についての正しい知識を持ち、理解が深まるよう取り組むなど、依存症に関する府民の懸念や不安を払拭できるようにすることが重要と考えます。

そこで、府民への普及啓発など府のギャンブル等依存症対策について、健康医療部長に伺います。

(健康医療部長答弁)

- 本府では、大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画に基づき、「普及啓発の強化」、「相談支援体制の強化」、「治療体制の強化」、「切れ目のない回復支援体制の強化」を 4 本柱に、依存症対策に取り組んでいます。
- 府民への普及啓発としては、ポスターやリーフレットに加えて、高校における出前講座や教員向け研修などの若年層向け予防啓発や、医師やケースワーカーによる府民セミナーの開催などを行っています。
- 今後、新たにギャンブル等依存症について関心を持っていただけるような動画を作成し、youtube やデジタルサイネージ等を活用して広く府民に発信するなど普及啓発を強化するとともに、相談から治療まで切れ目のない支援体制の整備を更に進めていきます。

(横倉廉幸議員)

【要望】

一人でも多くの府民の方が、ギャンブル等依存症に関する正しい知識を持つことは、IR 誘致への不安の払拭にもつながるものと考えます。

引き続き、教育庁と連携した予防教育に努めるなど、大阪府として全庁をあげてギャンブル等依存症対策にしっかり取り組んでください。

4 西警察署建替え

次に、私の地元大阪市西区にある西警察署の建て替えについてお伺いいたします。

西警察署は、昭和 41 年に建設された古い庁舎で、かなり老朽化が進行しており、また、狭隘の度合いも激しいと聞いております。

西区では人口が平成 5 年では 55,000 人ほどでしたが、先日発表された平成 2 年 10 月の国勢調査の確定値では 105,862 人と増加傾向にあり、それに伴い警察が取り扱う事象も増加すると思いますが、現庁舎では効率的な警察活動や府民サービスに支障が出ているものと思われます。

私は、この状況を改善するためには、是非とも西警察署の建替えが必要だと思っております。

そこで、西警察署の建替えについてどのようにお考えか、警察本部長にお伺いします。

(警察本部長答弁)

- 警察署の建替えにつきましては、平成27年に大阪府が策定した「施設の長寿命化」と「総量最適化・有効活用」を柱とする「大阪府ファシリティマネジメント基本方針」に基づいて行っており、建築後70年以上を目標としています。
- よって、警察署の建築後、相当年数が経過し老朽化や狭隘化が認められた場合には、通常の維持・修繕に加えて、改修・増築等に対応しているところです。
- しかしながら、それでも効率的な警察活動や府民サービスに支障をきたすなど課題が解消できない場合には、建築後70年に満たない場合でも更新を検討する必要があると考えています。
- 西警察署については、議員お示しのとおり、建築後55年が経過し、庁舎の老朽化だけでなく、狭隘化も認められ、改修・増築等での対応が難しいことから、建替えについて、検討を進めてまいりたいと考えています。

【要望】

大阪府内には66の警察署があり、多くの警察署で老朽化や狭隘化が進み、また、バリアフリーが整備されていないなどの課題を抱えている中、庁舎の建替えに当たっては、限られた予算の中で、緊急性など優先度を考慮して取り組まれていることはよく存じております。

府民の安心と安全の要となる警察署には、機能的で府民サービスが満たされた庁舎であることが求められますが、現在の西警察署は、その求めに応えた庁舎であるとは、私には到底思えません。

ぜひとも、西警察署の建替えについて、前向きに検討していただきますよう、強く要望いたします。

以上、一般質問を終わります。

ご清聴、ありがとうございました。

